

コース名	DX経営人材コース		
講座名	—		
科目名	DX入門Ⅲーデータからみるためのスキル		
必修・選択	—	単位	—
概要・目的	DX(Digital Transformation)を進めるためには、そのための思考・マインドと情報リテラシーを並列しながら、具体的な業務を少しずつ改善していくためのプロトタイプを考えて行くことが必要となる。各業務をデータ駆動型業務改善を行うためのデータの取り扱い方などについて学ぶ。pythonによるプログラムを利用して、情報を取り出す方法を学ぶことを通して、データの生成、解析などのスキルを身に付ける。		
到達目標	データ駆動型業務改善のための基礎スキルを身に付ける		
授業方法	講義＋演習	実施形態	対面＋遠隔同期
評価方法	最終レポート		
授業項目	1	データの種類：構造化、半構造化、非構造化データ	
	2	構造化データとしてのエクセルシート(CSV)	
	3	エクセルのマザーシートとデータの一元管理	
	4	半構造化データを使ったメモ(YAML)	
	5	半構造化データを使ったメモ(JSON)	
	6	半構造化データからの情報の抽出法	
	7	非構造化データである文章からの情報の抽出法	
	8	モデル化とシミュレーションのためのデータ	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
使用教材	配布資料、同期型遠隔の場合は、zoomなどの遠隔会議システムを利用する。		
特記事項	対面を念頭においた集合研修である。1日(8時間)を想定している。打ち合わせの上、DXの基礎、他のDX入門などと組み合わせたカスタマイズも可能である。 キーワード：情報リテラシー、データ駆動		